

事業終了以降の連携拠点機関におけるコーディネート機能の継承と展開
及び拠点機関の体制

福岡県は、地域研究開発促進拠点支援業務として、ネットワーク構築型を3年間、研究成果育成型を5年間実施し、地域の科学技術基盤形成を積極的に展開してきた。

事業終了後は、形成されたこの基盤を福岡県が継承し、更に地域における科学技術の振興と地域経済の活性化、生活の質向上、知的資産の拡充等に向けた活動を展開する。

地域研究開発促進拠点支援業務（RSP）

ネットワーク型（平成8～10年度）
研究成果育成型（平成11～15年度）



事業終了後、福岡県として形成された基盤を継承する

1. マッチングコーディネート事業の実施（平成14年度～：福岡県単独事業）

<http://www.ist.or.jp/ren/mc.htm>

- (1) マッチングコーディネータ：4名配置
- (2) シーズ・ニーズの調査・マッチング、実用化可能性試験、他事業への橋渡し
- (3) 研究開発プロジェクト、実用化へのコーディネート

2. データベースの整備

- (1) 研究成果データベース（公開）

http://www.ist.or.jp/study_result/index.php

地域研究開発促進拠点支援業務（RSP）で得られた成果を含め、ふくおかISTが地域の中核支援機関として実施してきた研究開発成果をHP上に公開した。

- (2) 研究者人材データベース（非公開）

ふくおかISTが実施してきた研究課題に関わった研究者の人材情報をデータベースとして整備し、技術移転や支援業務の効率化のため活用する。

3. 研究開発公募事業の案内・検索HPの開設（平成15年度～）

<http://www.ist.or.jp/koubo/index.php>

地域の研究開発をより効率的に進めるため、各種研究開発事業の公募情報を一元的に、且つタイムリーに情報収集し、HP上に公開した。

企業や大学等の研究者が本サイトを利用することで、迅速な情報収集による研究開発の早期開始が可能となった。